



一本道

相良中学校通信No.42

令和5年3月24日

校長 吉田憲一

1 「桜の便り」相良中の桜開花宣言

3月16日、教頭先生から「体育館横の桜が、咲き始めましたね。」とのうれしい話がありました。早速、桜の花を見に行きました。4つほど、つぼみから花に変わっていました。その木には「平成5年度卒業生一同」の札が掛けてありました。卒業生の皆様ありがとうございました。他に咲いていないかと敷地内を見て回りましたが、咲いていたのは、この木だけでした。まさに「初桜」であり、「桜開花宣言」です。校庭には、桜の木が、23本(大8本、小15本)あるようです。本日、桜の木を見に行くと、満開でした。学校がピンク色に包まれています。とてもきれいです。相良中学校から「桜の便り」をお届けいたしました。



2 3日間の試行期間、「昼休み45分」の日課

3月17日、給食時間に全校放送をしました。放送内容は、最後の週の3日間、日課を変更することについてです。大きな変更点は、「昼休みを25分から45分に変更すること」です。理由は、「この1年間、晴れた日の昼休みに、運動場で遊んでいる姿をほとんど見なかったから」です。「25分間では、昼休みに外に出て遊べない」ということも分かりました。だから、先生たちで検討し、昼休みを45分にする日課を考えました。休み時間見て回りましたが、運動

場でテニスや野球、サッカー、そしてお花見、体育館でバレーやバトミントン、図書館で読書、教室で勉強する生徒の姿がありました。その様子やアンケート等をもとに、来年度の昼休みについて、もう一度考えたいと思っています。「体を動かしながら遊ぶこと」は「元気力」の源になると思っています。

「体の元気」ばかりでなく、「心の元気」も向上します。



3 WBC決勝、パブリックビューイングにて全校生徒観戦

3月22日4校時、全学年道徳の授業に変更しました。教材WBC決勝戦の観戦。授業のねらいは「チームワーク」。全校生徒が体育館に入り、パブリックビューイングで、日本対アメリカの決勝を観戦しました。生徒が体育館に来たのは8回裏でした。まず、山田の盗塁に大盛り上がり。そして、9回表の大谷のピッチングに、一喜一憂しながら応援しました。大谷がトラウトを三振で破り、優勝を決めた瞬間、体育館に大歓声が響き渡りました。おめでとうジャパン。この瞬間を全校生徒と共有できて最高でした。



この1年間、「元気な学校」「成長できる学校」に確実に近づけたと思っています。生徒の皆さんと先生方に感謝です。そして、応援いただいた保護者の皆様、本当にありがとうございました。